

2023年3月1日

ローム株式会社

設立30周年記念曲と共に日本全国にオーケストラの音楽をお届けする特別企画第2弾！

ROHM MUSIC FOUNDATION 30<sup>TH</sup> ANNIVERSARY PROJECT Vol.2

## 九州交響楽団 プレミアム・コンサート in 福岡

ローム株式会社(本社:京都市)が支援する公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション(京都市)は、財団設立30周年を記念し日本全国でオーケストラのコンサートを開催する「ROHM MUSIC FOUNDATION 30<sup>TH</sup> ANNIVERSARY PROJECT プレミアム・コンサート」(以下、「本プロジェクト」)の第2弾として、「九州交響楽団 プレミアム・コンサート in 福岡」を2023年5月3日(水・祝)に開催いたします。

ローム ミュージック ファンデーションは1991年に設立されて以降、若手音楽家の育成やコンサート支援など、音楽文化の普及と発展のため様々な活動を継続して行ってきました。設立30周年を記念して、より多くの方に音楽の素晴らしさを知っていただくため、2023年1月より数年にわたって全国各地でオーケストラのコンサートを開催するプロジェクトを実施しております。

本プロジェクトの公演では、2009年「天皇陛下御即位二十年をお祝いする国民祭典」において奉祝曲を委嘱され、『組曲「太陽の国」』を披露するなど、テレビや映画での作品も含めて幅広く活躍されている日本屈指の作曲家、岩代太郎氏へ委嘱した設立30周年記念作品「東風慈音ノ章」を披露いたします。また、ソリストとして出演する音楽家は、ローム ミュージック ファンデーションが過去に音楽家育成事業に関わり、現在国内外で活躍する音楽家「ローム ミュージック フレンズ」です。

「九州交響楽団 プレミアム・コンサート in 福岡」では、プログラムの最後にイタリアの作曲家、レスピーギの名曲として名高い「ローマ三部作」より「ローマの噴水」と「ローマの松」というきらびやかで壮大な作品を披露いたします。また、作品の演奏前に司会の朝岡聡が楽しく楽曲を解説するプログラムもご用意しております。

ローム ミュージック ファンデーションの30年以上にわたる音楽文化支援活動で得た絆が生み出す豪華プログラムをお楽しみください。

## ■第2回公演概要



- 名 称 : ROHM MUSIC FOUNDATION 30<sup>TH</sup> ANNIVERSARY PROJECT Vol.2  
九州交響楽団 プレミアム・コンサート in 福岡
- 日 程 : 2023年5月3日(水・祝)17:00開演(16:00開場)
- 会 場 : アクロス福岡 福岡シンフォニーホール(福岡市)
- オンライン : クラシック専門ストリーミングサービス「カーテンコール」内  
「ローム ミュージック チャンネル」にて配信  
<https://curtaincall.media/rmf>
- 出 演 者 : 指揮者 / 高関 健  
ピアノ / 菊池 洋子(ローム ミュージック フレンズ)  
管弦楽 / 九州交響楽団  
司会 / 朝岡 聡
- 料 金 : S席/4,000円、A席/3,000円、B席/2,000円  
オンライン配信チケット/500円
- チケット販売 : 2023年3月1日(水)  
アクロス福岡チケットセンター他にて販売開始
- 主 催 : 公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション
- 特別協賛 : ローム株式会社
- 協 賛 : ローム・アポロ株式会社

※詳細は添付のチラシをご参照ください。

## ■ コンサート プログラム

- 岩代 太郎 : 東風慈音ノ章 ~ローム ミュージック ファンデーション設立 30 周年記念 委嘱作品~  
W.A.モーツァルト : ピアノ協奏曲 第 23 番 イ長調 K.488 (ピアノ独奏:菊池 洋子)  
O.レスピーギ : 交響詩「ローマの噴水」P.106、交響詩「ローマの松」P.141

### <コンサートのポイント>

- ・本プロジェクトのために岩代太郎氏が作曲した作品を演奏。  
※世界初演は2023年1月25日 角田鋼亮指揮、京都市交響楽団。本作品の演奏としては本公演で2回目。
- ・ソリストの菊池洋子(ローム ミュージック ファンデーション2002、2003年度奨学生)はモーツァルト国際コンクールにおいて日本人として初めて優勝した日本を代表するピアニスト。指揮者は国内外のオーケストラと共演する名匠、高関健。
- ・司会の朝岡聡による楽曲や楽器解説も含まれており、クラシック愛好家だけではなく幅広い方々にお楽しみいただけるプログラムをご用意。

## ■ 30周年記念委嘱作品について

### ①タイトル

#### <日本語表記>

東風慈音ノ章(こちじおんのしょう) Rohm Music Foundation 30th Anniversary Work

#### <英語表記>

The Chapter of KOCHI-JION Rohm Music Foundation 30th Anniversary Work

### ②作曲者 岩代太郎氏コメント

以前から幾度となく、異国の地で「たった一人の日本人メイン・スタッフとして」映画や映像制作の現場に参画してまいりました。特にアジア圏内の制作現場では、歓迎の視線、そして嫌悪の視線が交差する現場も決して珍しくありません。そんな折、私は関係者の人々に、「慈愛」「敬愛」の念をもって誠意を尽くすことで、結果、多くの友人に恵まれてきました。「敬う」「慈しむ」という心情は、ほぼ誤解なく伝わるものだと自負しています。因みに「愛情」や「礼節」だけではダメなのです。それは、相手が求めているカタチでなければ、伝わらず、受け止めてもらえないことさえあります。夫婦間や恋人同士であっても、「愛情」や「礼節」の掛け違いから喧嘩になることもあるほどですから。改めて言うまでもなく「愛情」や「礼節」が争いや戦争のきっかけになってきたことは、誰もが歴史から学べるところでしょ。

世界の分断が日に日に増し、不穏な空気感が漂っている今、極東に位置する私たち日本が、明日に向かって何を成すべきか、そんな想いを敢えて「祝典曲」に込めたいと思いました。

「音楽」が成就する為には「平和」が必要です。

「音楽」は「心」にしか宿りません。

そんな様々な明日への想いを込めて、「東風慈音ノ章」と名づけさせて戴きます。

### <岩代太郎氏プロフィール>



©Rowland Kirishima

東京藝術大学大学院修了。国内外を問わず数多くの映像作品の音楽を担当。映画「血と骨」「春の雪」「蝉しぐれ」「利休にたずねよ」「Fukushima 50」「キネマの神様」で日本アカデミー賞優秀音楽賞、「闇の子供たち」で毎日映画コンクール音楽賞を受賞。またジョン・ウー監督「レッドクリフ」「The Crossing」「Manhunt」、ボン・ジュノ監督「殺人の追憶」も手掛ける。TVでもNHK連続テレビ小説「あぐり」、大河ドラマ「葵・徳川三代」「義経」なども担当。2018年より、演劇と音楽のあたらしいカタチの舞台「奏劇」を企画し、自らの原案・作曲・演奏で公演を行っている。また自ら主宰してNPO法人「オトブミ集～絆」を立ち上げ、社会貢献活動にも取り組んでいる。

### ■ライブ配信及びアーカイブ配信について(有料)

クラシック専門ストリーミングサービス「カーテンコール」にてライブ配信いたします。  
また、2023年5月8日(月)15:00～5月14日(日)23:59までアーカイブ配信でもご覧いただけます。

### ■ROHM MUSIC FOUNDATION 30<sup>TH</sup> ANNIVERSARY PROJECT 特設WEBサイトについて

ローム ミュージック ファンデーションWEBサイト内に特設WEBサイトを設置し、本プロジェクトの概要や各地の公演情報等を随時更新して掲載しています。

<<https://micro.rohm.com/jp/rmf/30th-project/>>

### ■ローム ミュージック フレンズについて

ローム ミュージック ファンデーションは様々な事業で若い音楽家の育成を図っており、その事業の中で関わった音楽家を「ローム ミュージック フレンズ」(4,732名:2023年2月現在)として、ともに音楽を届ける仲間となつていただいています。

事業名	内容
奨学援助 (1991年度～)	国内外の教育機関で音楽を学ぶ学生への奨学金の支給。 現在までに525名を支援。
音楽在外研究援助 (1993年度～2014年度)	音楽家の一層の研鑽を図るための在外研究を援助。 現在までに64名を支援。
音楽セミナー (1992年度～)	プロの音楽家の育成を目的としたセミナー。これまでに弦楽器クラス、管楽器クラス、指揮者クラスを実施し、現在までに333名が受講。
ローム ミュージック セミナー (2019年度～)	世界で活躍するローム ミュージック フレンズによる音楽家育成セミナー 2019年度からは宮田大・チェロクラスを実施し、現在までに8名が受講。
京都・国際音楽学生フェスティバル (1993年度～)	国際交流と音楽家の育成を目的として、世界を代表する音楽学校から音楽学生を京都に招いて開催するフェスティバル。 現在までに国内外から2,635名が出演。
小澤征爾音楽塾 (2000年度～)	小澤征爾氏の「若い音楽家を育てたい」という熱い思いで始まったオペラやオーケストラの公演を通じて若手音楽家の育成を図る教育プロジェクト。 現在までに1,422名が出演。

※ローム ミュージック フレンズは複数事業に関わった方がいるため、各事業の人数と合計人数は一致しません。

以上



# ROHM MUSIC FOUNDATION 30<sup>TH</sup> ANNIVERSARY PROJECT

公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーションは、京都市に本社を置く半導体・電子部品メーカーであるローム株式会社および創業者の佐藤研一郎(1931年～2020年)が中心となって1991年に設立され、若手音楽家の育成やコンサート支援など音楽文化の普及と発展のためさまざまな活動を行っており、2021年に設立30周年を迎えました。

設立30周年を記念し、この活動をより拡げるために音楽の素晴らしさを伝えるオーケストラのコンサートを全国各地で開催いたします。各地のオーケストラとともに、ローム ミュージック ファンデーションが過去に若手音楽家育成事業で関わり、現在国内外で活躍する音楽家「ローム ミュージック フレンズ」の出演や、設立30周年を記念した委嘱作品の演奏など華やかなプログラムをお届けします。



## 九州交響楽団 The Kyushu Symphony Orchestra(管弦楽)

1953年創立。1973年に改組、のち財団法人化を経て2013年から「公益財団法人九州交響楽団」となり、九州の常設オーケストラとしてアジアの交流拠点都市「福岡」に本拠地を置く。アクロス福岡での定期演奏会をはじめ、天神でクラシック、名曲・午後のオーケストラの自主公演の他、青少年向けのコンサート、オペラやバレエ、合唱との共演、ポップス、映画音楽、ファミリーコンサートなど内容は多岐に渡り、福岡県を中心に九州各地で年間約150回の演奏活動を行っている。2013年小泉和裕が音楽監督に就任後「ベルリオーズ／幻想交響曲」、「ベートーヴェン／交響曲第9番」、「マーラー／交響曲第8番〈千人の交響曲〉」、「マーラー／交響曲第3番」のCDを発売。これまでに、福岡市文化賞、西日本文化賞、文部大臣地域文化功労賞、福岡県文化賞を受賞。東京2020オリンピック競技大会閉会式のアトラクション用楽曲に、九州交響楽団演奏の『武満徹／「波の盆」』が使用された。



## 高関 健 Ken Takaseki (指揮)

国内主要オーケストラで重職を歴任し、現在東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団常任指揮者、仙台フィルハーモニー管弦楽団レジデント・コンダクター(2023年4月から常任指揮者)、富士山静岡交響楽団首席指揮者、東京藝術大学指揮科教授。

サンクトペテルブルグ・フィルハーモニー交響楽団定期演奏会では聴衆や楽員から大絶賛を受ける。マルタ・アルゲリッチをはじめとする世界的ソリストや作曲家からも絶大な信頼を得る、緻密で徹底的なスコアの分析からスケールの大きな音楽を作り出す名匠。ウラジオストクヤサンクトペテルブルグでの團伊玖磨オペラ『夕鶴』や新国立劇場公演ストラヴィンスキー『夜鳴きうぐいす』とチャイコフスキー『イオランタ』など、オペラでも高評を得る。第50回サントリー音楽賞受賞。

twitter.com/KenTakaseki



## 菊池 洋子 Yoko Kikuchi (ピアノ)

ローム ミュージック フレンズ<ローム ミュージック ファンデーション2002、2003年度奨学生>

2002年第8回モーツァルト国際コンクールにおいて日本人として初めて優勝、一躍注目を集めた。その後、ザルツブルク音楽祭に出演するなど国内外で活発に活動を展開し、いまや実力・人気ともに日本を代表するピアニストの一人である。桐朋学園女子高等学校音楽科卒業後、イタリアのイモラ音楽院に留学、フランコ・スカラ、フォルテピアノをステファノ・フィウツィに師事。国内主要オーケストラとの共演をはじめ、ザルツブルク室内管弦楽団、フランク・リスト室内管弦楽団、南西ドイツ・フィルハーモニー交響楽団、ベルリン交響楽団等と共演。バレエとのコラボレーション公演にも出演し、CD録音も活発に行う。前橋市Presents 舞台芸術祭芸術監督。2007年第17回出光音楽賞受賞。

菊池洋子オフィシャルホームページ yokokikuchi.jp



## 朝岡 聡 Satoshi Asaoka (司会)

横浜市生まれ。慶應義塾大学卒業。テレビ朝日にアナウンサーとして入社し、各種スポーツ中継の他「ニュースステーション」初代スポーツキャスターとして活躍。1995年フリーとなってからはテレビ・ラジオ・CMの他、クラシックコンサートの企画構成や司会でもコンサート・ソムリエとして活動のフィールドを広げている。とくにオペラと古楽ではユニークな評論が注目を集めており、クラシックの語り部としても幅広く活動中。興味深い内容を軽妙な語り口で展開する独自の世界は、新しい芸術ファンのすそ野を広げる司会者として注目と信頼を集めている。東京藝術大学客員教授。日本ロッシーニ協会副会長。

twitter.com/SatoshiAsaoka



## 岩代 太郎 Taro Iwashiro (作曲)

東京藝術大学大学院修了。国内外を問わず数多くの映像作品の音楽を担当。映画「血と骨」「春の雪」「輝しぐれ」「利休にたずねよ」「Fukushima 50」「キネマの神様」で日本アカデミー賞優秀音楽賞、「闇の子供たち」で毎日映画コンクール音楽賞を受賞。またジョン・ウー監督「レッドクリフ」「The Crossing」「Manhunt」、ボン・ジュノ監督「殺人の追憶」も手掛ける。TVでもNHK連続テレビ小説「あぐり」、大河ドラマ「葵・徳川三代」「義経」なども担当。2018年より、演劇と音楽のあたらしいカタチの舞台「奏劇」を企画し、自らの原案・作曲・演奏で公演を行っている。また自ら主宰してNPO法人「オトブミ集〜絆」を立ち上げ、社会貢献活動にも取り組んでいる。

©Rowland Kirishima

## ローム・アポロ株式会社

ローム・アポロ株式会社は、1969年に筑後市でアポロ電子工業として設立いたしました。

京都に本社を置く半導体・電子部品メーカー、ロームのグループ企業の一員として、自動車や産業機器のほか、スマートフォンやパソコンをはじめとする通信機器、家電製品など、多様な市場に対して品質と信頼性に優れた半導体・電子部品をグローバルに供給しています。

現在は、福岡県内の八女郡広川町、筑後市、行橋市に4工場を有し、海外では、タイ、フィリピン、中国大連にある工場の製造支援を行っています。

2020年には次世代半導体として注目を浴びるSiCパワー半導体の量産を行う新棟を筑後工場に竣工し、2022年12月より本格稼働を開始いたしました。これからも、ロームグループが掲げる企業目的の通り、良い商品を国内外へ永続かつ大量に供給し、文化の進歩向上に貢献します。

